

V o i c e ☆☆☆

会員の登山要求に応えるために会員拡大を！

組織部部长 浜田光国

皆さんはアルプスの秋山登山へ行ったのでしょうか。私は7年ぶりに10月6日夜行～9日まで穂高へ行って来ました。涸沢は紅葉がほぼ真っ盛りで今年一番のテントであふれていました。あふれる人混みの中で大阪労山のセミナー卒業生達（2つの会）にお会いしました。大阪労山の仲間に会えると非常に嬉しいものですね。セミナーを永く続けていたことで、セミナーの仲間作りの喜びを実感出来ました。

さて、大阪労山全体の組織数は2001年の1731名をピークに会員数がゆるやかに減少し、昨年11月末の組織数は1348名となりました。組織数減少の原因追求のためもあり、5年ぶりに「会員拡大のためのアンケート」（回収28の会）を取りましたが、退会した会員が高齢化によるものだけでなく結婚・育児、仕事（転勤など）による理由が前回（2012年）より増えていました。幅広い年齢層で会員の退会が増えているようです。何もしなければ会員は減少すると考えられます。入会者は山に行きたくて入った人、山の技術の習得を求めて入会した人、また、山の仲間を求めて入会した人もいます。これらの登山要求に応えるために会員拡大の必要性があるように思います。

今年も、来年度の連盟費算出のための「11月末現在の組織数提出」をお願いします。この機会に会員数の現状把握や、会員拡大について話し合ってくださいと思います。組織数提出の締切は12月14日までですので、よろしくをお願いします。



涸沢から北穂高方